

在宅療養・看取りに関する意識調査へのご協力について

平素は、守山市の保健・福祉にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

守山市では、療養が必要になっても安心して自宅で暮らすことができるまちを目指し、様々な視点から支援を行う体制づくりに取り組んでいます。

この意識調査は、自宅で療養するうえでの課題を明らかにし、今後の在宅療養・看取りの支援体制づくりの充実に役立てることを目的として実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 守山市

<ご記入にあたってのお願い>

- この調査の対象者は、守山市在住で 40 歳以上の方（令和 7 年 10 月 1 日現在）を無作為に抽出しています。お送りした封書に書かれているあて名の方、ご本人がご記入ください。（ご本人による記入が困難な場合には、ご家族などがご本人から聞き取って代筆をお願いします。）
- この意識調査は、無記名でお願いいたします。また、調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、外部にもれたりすることはありません。
- それぞれの設問について、あてはまる番号に○印をつけてください。
「その他」に○印をつけた場合は、(.....) 内に具体的な内容をご記入ください。

<回答方法>

回答方法 1：右記 QR コードを読み取り回答する場合

回答を入力いただき、回答を送信してください。

回答方法 2：調査票で回答する場合

ご記入いただいた調査票は、返信用封筒に入れポストへ投函ください。（切手は不要です。）



- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

守山市健康福祉部地域包括支援センター

在宅医療・介護連携サポートセンター

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL：077-581-0340/FAX：077-581-0203

《在宅療養・看取りに関する意識調査》

I あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 あなたの性別を教えてください。(1つに○印)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答したくない |
|------|------|-----------|

問 2 令和 7 年 4 月 1 日現在の満年齢を教えてください。(1つに○印)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 40 歳以上～45 歳未満 | 2 45 歳以上～50 歳未満 |
| 3 50 歳以上～55 歳未満 | 4 55 歳以上～60 歳未満 |
| 5 60 歳以上～65 歳未満 | 6 65 歳以上～70 歳未満 |
| 7 70 歳以上～75 歳未満 | 8 75 歳以上～80 歳未満 |
| 9 80 歳以上 | |

問 3 あなたのお住まいの学区はどちらですか。(1つに○印)

- | | | |
|------|--------------------|------|
| 1 守山 | 2 吉身 | 3 小津 |
| 4 玉津 | 5 河西 | 6 速野 |
| 7 中洲 | 8 わからない(町名: _____) | |

問 4 同居されていますか。同居されている場合は、同居されている方を教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|-------------------|----------|-----|
| 1 同居家族はいない(一人暮らし) | | |
| 2 配偶者(妻・夫) | 3 親(父・母) | 4 子 |
| 5 兄弟姉妹 | 6 祖父・祖母 | 7 孫 |
| 8 その他(_____) | | |

Ⅱ 医療・介護に関することについて

問5 かかりつけの診療所（医院）を決めていますか。（1つに○印）

- | | |
|---------|------------|
| 1 決めている | 2 特に決めていない |
|---------|------------|

問6 あなたは、かかりつけの歯科診療所を決めていますか。（1つに○印）

- | | |
|---------|------------|
| 1 決めている | 2 特に決めていない |
|---------|------------|

問7 あなたは、かかりつけ薬局（※）を決めていますか。（1つに○印）

- | | |
|---------|------------|
| 1 決めている | 2 特に決めていない |
|---------|------------|

※かかりつけ薬局とは、薬物療法だけでなく、健康や介護に関する豊富な知識と経験を持ち、適切な指導や患者さんの相談に応じることのできる薬局のことを言います。

問8 医療や介護に関する情報はどこから入手しますか。（あてはまるのもすべてに○）

- | |
|--|
| 1 家族や隣人、知人などの口コミからの情報 |
| 2 新聞やテレビ、ラジオなどからの情報 |
| 3 インターネットからの情報 |
| 4 ケアマネジャーからの紹介 |
| 5 病院・診療所の医師・看護師・相談員などからの紹介
(病院の地域連携室などの相談窓口も含む) |
| 6 事業所の広告や宣伝 |
| 7 講演会やセミナー |
| 8 市が発行している広報など |
| 9 守山市在宅医療・介護連携サポートセンターからの情報 |
| 10 守山市地域包括支援センターからの情報 |
| 11 その他 (.....) |

問 9 介護に関するあなたの経験について教えてください。(1つに○印)

- 1 現在、介護をしている
- 2 現在、介護をしていないが、今までに介護をした経験がある
- 3 介護をした経験がない
- 4 現在、自分自身が介護を受けている

問 10 介護保険サービスの利用などに関する相談場所で、あなたが知っているところがありますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 守山市在宅医療・介護連携サポートセンター
- 2 守山市地域包括支援センター
- 3 病院の地域医療連携室などの相談窓口
- 4 居宅介護支援事業所（ケアマネジャーが所属している事業所）
- 5 その他（.....）
- 6 知らない

<エンディングノートについて>

※エンディングノートとは、自分自身の万が一に備えて治療や介護、自分の最期に関して、希望などをあらかじめ書き留めておくノートのことです。

問 11 あなたは、エンディングノート（遺言ノート、マイライフノートなどともいいます）について活用していますか。（1つに○印）

- 1 活用している（書いたことがある・書いている）
- 2 知っているが、書いたことがない
- 3 知らない

問 12 問 11 で「1 活用している（書いたことがある・書いている）」とお答えになられた方にお伺いします。何がきっかけで、エンディングノートを書きましたか。（あてはまるものすべてに○印）

- 1 自分の病気や事故
- 2 ご家族、友人等の病気・事故や死
- 3 ご家族、友人等が書いていたから・勧められたから
- 4 医療や介護関係者に勧められたから
- 5 書籍や雑誌、テレビなどで存在を知ったから
- 6 何となく
- 7 その他（.....）

問 13 問 11 で「2 知っているが、書いたことはない」、「3 知らない」とお答えになられた方にお伺いします。
今後エンディングノートを書くつもりがありますか。（1つに○印）

- 1 いずれ書くつもりである
- 2 今後も書くつもりはない
- 3 わからない

問 14 問 13 で「2 今後も書くつもりはない」「3 わからない」とお答えになられた方にお伺いします。その理由は何ですか。(1つに○印)

- 1 必要性を感じるが、人生の最期を考えると不安になるため
- 2 必要性を感じるが、手間や時間がかかるため
- 3 必要性を感じない
- 4 その他 (.....)

問 15 問 11 で「2 知っているが、書いたことはない」「3 知らない」とお答えになられた方にお伺いします。エンディングノートを書く目的や書き方について知ることができれば、書いてみようと思いますか。(1つに○印)

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 わからない

問 16 問 15 で「1 思う」とお答えになられた方にお伺いします。エンディングノートを書く目的や書き方を知る機会等について、どのような機会や媒体であれば、参加したい、見たいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 講演会
- 2 出前講座
- 3 ホームページ
- 4 動画
- 5 ちらし
- 6 その他 (.....)

Ⅲ 在宅療養・終末期医療について

<あなた自身についてお聞かせください>

問 17 自分に万が一のことが起こったときや人生の最期について家族と話し合ったことはありますか。(1つに○印)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 18 問 17で「1 はい」とお答えになられた方にお伺いします。何がきっかけで、人生の最期について家族と話し合いましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-----------------------------|
| 1 誕生日 |
| 2 結婚 |
| 3 妊娠 |
| 4 出産(配偶者の場合も含む) |
| 5 自分の病気 |
| 6 退職 |
| 7 還暦などの年齢的な節目 |
| 8 ご家族、友人等の病気や死 |
| 9 メディアから情報を得たとき |
| 10 医療や介護関係者による説明や相談の機会を得たとき |
| 11 その他(.....) |

問 19 問 17で「2 いいえ」とお答えになられた方にお伺いします。これまでに話し合ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|--------------------------------|
| 1 人生の最期を考えると不安になり、話し合いをしたくないから |
| 2 話し合う必要性を感じていないから |
| 3 話し合うきっかけがなかったから |
| 4 その他(.....) |

問 20 人生会議（ACP：Advance Care Planning）（※）について、知っていますか。（1つに○印）

- 1 知っている
- 2 名前は聞いたことがある
- 3 知らない

※人生会議（ACP：Advance Care Planning）とは、今後の医療・療養について患者・家族等が意思決定できるように大切な人とあらかじめ話し合うプロセスのことです。

問 21 もし仮に、あなた自身が痛みなどのつらい症状で、しかも治る見込みもなく6か月以内に死期が迫っている状態にある場合、どのようにしたいと思われますか。（1つに○印）

- 1 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- 2 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟（※）に入院したい
- 3 自宅で最期まで療養したい
- 4 なるべく今まで通っていた医療機関に入院したい
- 5 なるべく早く緩和ケア病棟（※）に入院したい
- 6 専門的医療機関（がん専門医療機関など）で積極的に治療を受けたい
- 7 その他（.....）

※緩和ケア病棟とは、がんの痛みやその他の苦痛を緩和し、その人らしい生活を支援することを目的とした病棟のことです。

問 22 問 21 で「1 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」、「2 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」、「3 自宅で最期まで療養したい」とお答えになられた方にお伺いします。

自宅での療養を選ばれた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

- 1 家族や大切な人と一緒に過ごしたいから
- 2 住み慣れた自宅が一番落ち着くから
- 3 自宅でしたいことがあるから
- 4 入院費などの経済的な理由から
- 5 その他（.....）

問 23 あなたは、自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。

(1 つに○印)

- | |
|------------|
| 1 できる |
| 2 できない |
| 3 わからない |

問 24 問 23 で「2 できない」とお答えになられた方にお伺いします。

できないとお考えになる理由を選んでください。

(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない |
| 2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない |
| 3 訪問介護体制（ホームヘルパーの訪問）が整っていない |
| 4 24 時間相談にのってくれるところがない |
| 5 介護してくれる家族がいない |
| 6 介護してくれる家族に負担がかかる |
| 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である |
| 8 症状が急に悪くなったときに、すぐに入院できるか不安である |
| 9 居住環境が整っていない |
| 10 経済的に負担が大きい |
| 11 その他（.....） |

問 25 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(1 つに○印)

- | |
|----------------------|
| 1 自宅 |
| 2 病院 |
| 3 介護保険施設など ※ |
| 4 その他（.....） |
| 5 わからない（理由：.....） |

※「介護保険施設など」とは特別養護老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなどを指しています。

問 26 あなたは、自宅で最期を迎えることができる環境（訪問診療、訪問看護、緊急時の対応など）が整っていれば、自宅で最期を迎えたいと希望しますか。

(1 つに○印)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 希望する | 2 希望しない |
| 3 わからない（理由：.....） | |

問 27 あなたは、人生の最期（看取り）をどのように迎えたいですか。

（あてはまるものすべてに○印）

- 1 家族に囲まれて
- 2 医療・介護関係者に看取られて
- 3 友人に囲まれて
- 4 一人で
- 5 身体の痛みなく（緩和して）
- 6 家族に任せる
- 7 最期のことを家族と話し合い、自身も家族も納得した状態
- 8 その他（.....）
- 9 わからない

＜ご家族の在宅療養についてお聞かせください＞

※お一人暮らしの方は、ご家族や大切な人のことを想像してお答えください。

問 28 もし仮に「家族が治る見込みのない病気」にかかり余命「数か月」と死期が迫った場合、してあげたいと感じることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 本人の人生と一緒に振り返る2 最期まで一緒に寄り添い看取りをする3 本人のやりたいことをやり遂げさせてあげる4 残された日々の過ごし方を一緒に考える5 特になし6 その他 (.....) |
|--|

問 29 もし仮に、あなたの家族が痛みなどのつらい症状で、しかも治る見込みもなく6か月以内に死期が迫っている状態だとした場合、どのようにしたいと思われるですか。(1つに○印)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院してほしい2 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟(※)に入院してほしい3 自宅で最期まで療養してほしい4 なるべく今まで通っていた医療機関に入院してほしい5 なるべく早く緩和ケア病棟(※)に入院してほしい6 専門的医療機関(がん専門医療機関など)で積極的に治療を受けてほしい7 その他 (.....) |
|--|

※緩和ケア病棟とは、がんの痛みやその他の苦痛を緩和し、その人らしい生活を支援することを目的とした病棟のことです。

問 30 あなたは、家族に人生の最期をどこで迎えてほしいと希望されますか。(1つに○印)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 自宅2 病院3 介護保険施設など ※4 その他 (.....)5 わからない |
|--|

※「介護保険施設など」とは特別養護老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなどを指しています。

問 31 家族に万が一のことが起こったときや人生の最期について話し合ったことはありますか。(1つに○印)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 32 問 31 で「はい」とお答えになられた方にお伺いします。何がきっかけで、人生の最期について家族と話し合いましたか。（あてはまるものすべてに○印）

- 1 誕生日
- 2 結婚
- 3 妊娠
- 4 出産（配偶者の場合も含む）
- 5 自分の病気
- 6 退職
- 7 還暦などの年齢的な節目
- 8 ご家族、友人等の病気や死
- 9 メディアから情報を得たとき
- 10 医療や介護関係者による説明や相談の機会を得たとき
- 11 その他（.....）

問 33 あなたは過去 10 年間で、家族の最期を自宅で看取ったという体験をしたことはありますか。(1 つに○印)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 34 問 33 で「1 はい」とお答えになられた方にお伺いします。
家族を自宅で看取るために必要なことは何だったと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- 1 早い時期から専門的に相談できる所
- 2 「自宅で死にたい」という本人の強い思い
- 3 家族の最期を看取るという介護者や家族の強い思い
- 4 緊急時に往診していただける病院、診療所
- 5 家族の協力
- 6 訪問看護や訪問介護の 24 時間対応
- 7 その他 (.....)

問 35 今後、自宅での看取りが普及するにはどんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- 1 往診に取り組む医師が増えること
- 2 自宅での看取りを支援する訪問看護ステーションが増えること
- 3 自宅での看取りを支援する介護サービス職が増えること
- 4 看取りに関する専門の相談窓口が増えること
- 5 自宅での看取りに関わる医療職や介護サービス職が連携を強化すること
- 6 市民の自宅での看取りに関する意識が高まること
- 7 本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートスティの受け入れ体制が充実すること
- 8 病状が悪化したとき、いつでも入院できる病院があること
- 9 介護休暇などが取得しやすい職場環境があること
- 10 その他 (.....)

＜今後の在宅療養・看取りに思うことについて＞

問 36 今後、守山市の在宅療養・看取りを推進するために、どのようなことに力をいれる必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

- 1 在宅療養・看取りに関わる医療職や介護サービス職などに向けた、在宅療養・看取りに関する情報提供の推進
- 2 市民に向けた在宅療養・看取りに関する啓発活動
- 3 在宅療養・看取りに関わる医療職や介護サービス職などが知識・技術を高めることができる研修会の開催
- 4 在宅療養・看取りに関わる医療職や介護サービス職などの連携の強化
- 5 医療と介護をつなぐ連携拠点（守山市在宅医療・介護連携サポートセンター）の強化
- 6 在宅療養・看取りに関する相談窓口の充実
- 7 家族の介護負担を軽減するための介護サービスの充実
- 8 医療費や介護費用に関する経済的支援の充実
- 9 その他（ ）

問 37 在宅療養・看取りについて思われることを、ご自由にお書き下さい。

[illegible]